

平成 19 年度当初予算 施策別概要

3 4 1 医療体制の整備

(主担当部：健康福祉部)

34101	患者本位の医療の推進	(健康福祉部)
34102	県立病院の医療サービス提供	(病院事業庁)
34103	救急・へき地医療体制の整備	(健康福祉部)
34104	がん診療体制の整備	(健康福祉部)
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進	(健康福祉部)
34106	難病患者等の支援	(健康福祉部)
34107	医療分野の人材確保	(健康福祉部)
34108	適正な医療保険制度の確保	(健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 必要とする適切な医療を受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	地域の診療所・病院から地域医療支援病院 への紹介率	目標値	6 5 % (2009 年度)
		現状値	6 1 % (2005 年度)

かかりつけ医である地域の診療所・病院から専門的な医療等後方支援の役割を担う地域医療支援病院への紹介患者の割合 (紹介率 = 地域医療支援病院における初診医療の中の紹介診療の割合) (各地域医療支援病院報告)

県の取組	地域の診療所・病院から地域医療支援病院 への逆紹介率	目標値	4 5 % (2009 年度)
		現状値	4 1 % (2005 年度)
目標項目 (副指標)	難病相談件数	目標値	1 , 5 0 0 件
		現状値	1 , 2 9 4 件 (2005 年度)
	医療相談件数	目標値	6 5 0 件
		現状値	4 7 0 件 (2005 年度)

< 現状と課題 >

良質で効率的な医療提供体制の整備が強く求められる中、県内の病院に勤務する医師および看護師の不足・偏在や救急医療、へき地医療の整備が大きな課題となっています。また、適切な情報提供等患者本位の医療提供体制の整備に向けた取組とともに、がん対策については、がん診療連携拠点病院を中心とした診療・緩和医療ネットワークの構築、院内がん登録機能の向上、がん診療のための人材育成、県民への情報提供の充実などが求められています。

難病患者等への支援として、療養支援や生活支援を行うとともに、骨髄バンク等の普及

啓発を進める必要があります。

県立病院は、さらなる経営改善に取り組むとともに、次期経営計画の策定にあたり、そのあり方をさらに見直す必要があります。

医療保険制度については、国の医療制度改革の動向を踏まえつつ、制度の安定化に向けた指導、助言を行っていく必要があります。

<平成19年度の取組方向>

効率的な医療提供体制の確立に向け、病院と診療所との機能分担を進めるため、救急医療情報システム「医療ネットみえ」をより使いやすく充実するとともに、セミナー開催などによる県民への情報提供を実施します。

医師修学資金等貸与制度、ドクタープール制度などを活用し、へき地等で働く医師の確保に努めます。

不足する看護師および助産師を確保するため、看護職員修学資金の貸与や病院内保育所への支援を行うとともに、研修の実施等に取り組みます。

総合的ながん対策を実践するため、がん診療連携拠点病院を中心に、院内がん登録や県民への情報提供を進めるとともに、がん患者等の生活の質を向上させるため、関係機関の連携強化など地域における緩和医療の充実を図ります。

三重県難病相談支援センター、難病医療連絡協議会等との協働により、難病患者等へのきめ細かな療養、生活支援を行います。

県立病院については、医療制度改革や新しい県保健医療計画の動向、病院のあり方検討の結果等を踏まえ、次期中期経営計画の策定を行います。

医療費適正化計画を策定、推進するとともに、国民健康保険および老人医療等が適正に運営・実施されるよう、保険者、市町に対して必要な支援を行います。また、平成20年度から実施される後期高齢者医療制度が円滑に進むよう、運営主体である三重県後期高齢者医療広域連合（仮称）を支援します。

<主な事業>

(新)(重)医療情報提供充実事業【基本事業名：34101 患者本位の医療の推進】

当初予算額： - 千円 135,441千円

事業概要：県内医療機関の情報をインターネット等を通じて県民に提供する「医療ネットみえ」を充実するとともに、医療を取り巻く様々な課題に関する広報・啓発に積極的に取り組みます。

(新)(重)医療機関機能分化推進事業【基本事業名：34103 救急・へき地医療体制の整備】

当初予算額： - 千円 51,765千円

事業概要：限られた医療資源を有効に活用するため、関係機関と協働して「機能分化セミナー」を開催するなど啓発を行い、医療機関の機能分化を推進します。また、安全で安心できる「お産」を確保するため、研修等によって助産師の資質向上を図ります。

(一部新)(重)医師確保対策事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

当初予算額： 66,047千円 81,074千円

事業概要：へき地等で勤務する医師を確保するため、医師修学資金等貸与制度、ドクタープール制度、ドクターバンク制度等を活用するとともに、医師の配置調整を補完す

る機能について検討を行います。

臨床研修医確保のための研修環境改善事業

【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

当初予算額： 6,920千円 25,228千円

事業概要：臨床研修医の確保のために各県立病院が取り組んでいる魅力ある病院づくりの一環として、研修環境の改善や指導医の育成をはかるとともに、医学生に対する募集・広報活動を強化します。

(重) 看護職員確保・離職防止充実事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

当初予算額： 30,486千円 41,566千円

事業概要：看護職員を確保するため、県外出身の看護大学生への修学資金の貸付、病院内保育所設置に対する支援、看護学生や卒業生を対象にした相談体制の充実、新卒看護職員の交流会の開催等に取り組みます。

県立病院の看護師確保定着事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

当初予算額： 28,094千円 70,063千円

事業概要：県立病院で働く看護師の確保定着のため、新人看護師の技術支援、院内保育の充実、看護師修学資金制度の拡充等に取り組みます。

(新)(重) 総合的がん対策推進事業【基本事業名：34104 がん診療体制の整備】

当初予算額： - 千円 38,536千円

事業概要：がん診療連携拠点病院を中心とした診療・緩和ケアのネットワークの構築、院内がん登録の推進、専門人材の育成および県民等への情報提供を充実します。また、がん検診の質の向上を図るとともに、啓発活動に積極的に取り組みます。

(新) 重症難病患者在宅ケアシステム構築事業【基本事業名：34106 難病患者等の支援】

当初予算額： - 千円 4,874千円

事業概要：人工呼吸器を装着している「筋萎縮性側索硬化症」患者及びその家族が、安心して在宅療養生活を継続して送ることができる在宅医療提供体制を整備します。

難病相談・支援センター事業【基本事業名：34106 難病患者等の支援】

当初予算額： 10,224千円 10,240千円

事業概要：「三重県難病相談支援センター」において、地域で生活する難病患者やその家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進、就労支援などを実施します。

国民健康保険調整交付金【基本事業名：34108 適正な医療保険制度の確保】

当初予算額： 6,374,617千円 6,776,417千円

事業概要：市町が行う国民健康保険の安定運営に資するため、調整交付金を交付します。